

新型コロナウイルス感染症は留萌・宗谷管内でも発生し、町立病院でも簡易な抗原検査を実施しています。北海道の警戒ステージ強化により、会議の中止・事業縮小・飲食の自粛まで影響は及んでいます。地域の内外に関わらず感染により発症された方、お亡くなりになられた方にお見舞いとお悔やみを申し上げます。私たちができる最大限の注意や意識を感染症対策に向けていきましょう。

銀世界が広がり除雪車が出動しています。せめて気候だけは穏やかな年末年始になってほしいと思います。役場庁舎南隣の旧法務局が取り壊され、町長室からの景色が変わりました。町民の皆様や新栄通通行の皆様から町長室の電気が見えます。点灯時は在室しておりますので来庁をお待ち申し上げます。

「核のゴミ」の話題関連で、「電源交付金」は本町にもお隣の「研究施設」のおかげで毎年2千万円、20年で約5億円が交付されています。大半は町立病院の経費につき込んでいます。知恵を絞り、汗をかく、そんな町づくりを目指し、大自然に向かい合う農林水産業の振興なくして地域は語れ

ません。

「新」天塩大橋の完成で日本列島の背骨が少しは強靱化されたでしょう。昭和 32 年以前の渡船の時代を知る方、昭和 39 年の東京オリンピック聖火リレーの町内スタートを旧橋から市街地まで天塩高校生が担ったことが、もう歴史の一コマになろうとしています。稚内～旭川の交通隘路は雄信内トンネルと高規格縦貫道の未計画区間(天塩～中川・音威子府～美深)になるでしょう。11 月 20 日の雨で氾濫注意水位を越え、避難判断水位の手前だった天塩川中下流の治水対策と、住民の命や暮らし、産業交通ネットワークの脆弱さに鑑み、母なる天塩川と共存共栄する「百年の計」の観点が求められるでしょう。